

大学共同利用機関法人自然科学研究機構

平成 25 事業年度財務諸表の概要

自然科学研究機構は、平成 16 年度に法人化し、大学共同利用機関法人として国内外の研究者に対し共同利用・共同研究の場を提供するとともに、自然科学の最先端の研究や関連分野の研究を発展させるための活動を行っています。

本機構における平成 25 事業年度財務諸表の概要は、次のようになっています。

<貸借対照表>

本機構の財政状態を明らかにするため、基準日（平成 26 年 3 月 31 日）におけるすべての資産、負債及び純資産を記載しています。

(単位:百万円、%)

区分	平成24年度	平成25年度	対前年度 増△減額	増減率	区分	平成24年度	平成25年度	対前年度 増△減額	増減率
	A	B	B-A	(B-A)/A		A	B	B-A	(B-A)/A
資産の部					負債の部				
有形固定資産	114,076	111,618	△ 2,458	△ 2.1	資産見返負債	40,221	38,064	△ 2,157	△ 5.3
土地	28,839	28,839	-	0.0	引当金	-	-	-	-
建物	35,453	35,080	△ 372	△ 1.0	資産除去債務	575	587	11	2.0
構築物	1,032	954	△ 77	△ 7.5	長期未払金	3,990	2,873	△ 1,116	△ 27.9
工具器具備品	39,760	40,370	609	1.5	固定負債合計	44,788	41,526	△ 3,261	△ 7.2
建設仮勘定	6,265	3,641	△ 2,624	△ 41.8	運営費交付金債務	665	1,441	776	116.7
その他	2,725	2,731	6	0.2	寄附金債務	719	812	92	12.8
無形固定資産	4,842	4,694	△ 147	△ 3.0	前受金等	180	285	104	57.9
投資その他の資産	51	52	1	3.2	預り科学研究費補助金	578	416	△ 161	△ 27.9
固定資産合計	118,969	116,365	△ 2,604	△ 2.1	未払金	9,121	11,851	2,730	29.9
現金及び預金	9,685	12,994	3,308	34.1	その他	68	111	42	63.0
未収入金	118	49	△ 69	△ 58.4	流動負債合計	11,333	14,918	3,584	31.6
たな卸資産	345	423	78	22.6	負債合計	56,121	56,444	322	0.5
前払費用	145	335	190	131.5					
その他	0	7	7	1,515.6	純資産の部				
流動資産合計	10,294	13,810	3,515	34.1	資本金(政府出資金)	75,038	75,038	-	0.0
資産合計	129,264	130,176	911	0.7	資本剰余金	△ 2,368	△ 1,959	408	△ 17.2
					利益剰余金	472	653	180	38.1
					重点研究推進積立金	168	437	269	160.5
					積立金	8	21	12	148.7
					当期末処分利益	296	194	△ 102	△ 34.4
					純資産合計	73,142	73,731	588	0.8
					負債純資産合計	129,264	130,176	911	0.7

(※端数整理のため合計は一致しません)

◆ 資産

資産総額は約 1,301 億円で、前年度に比べ約 9 億円増加（0.7%増）しました。これは、すばる望遠鏡新焦点観測装置の取得や大型ヘリカル装置用ビーム対向壁改造により約 37 億円計上した一方で、前述の設備等を振り替えたことなどにより建設仮勘定約 26 億円減少したことなどによるものです。

◆ 負債

負債総額は約 564 億円で、前年度に比べ約 3 億円増加（0.5%増）しました。

これは、減価償却等により資産見返負債が約 21 億円減少したものの、取引業者等への期末未払金の増加などにより未払金が約 27 億円増加したことなどによるものです。

◆ 純資産

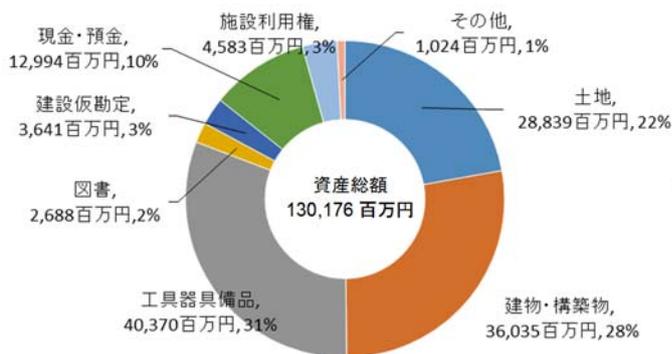
純資産総額は約 737 億円で、前年度に比べ約 5 億円増加（0.8%増）しました。

これは、資本剰余金が、すばる望遠鏡主焦点観測装置の取得等により増加した一方で、損益外減価償却等により減少し、総じて約 4 億円増加したことなどが理由に挙げられます。

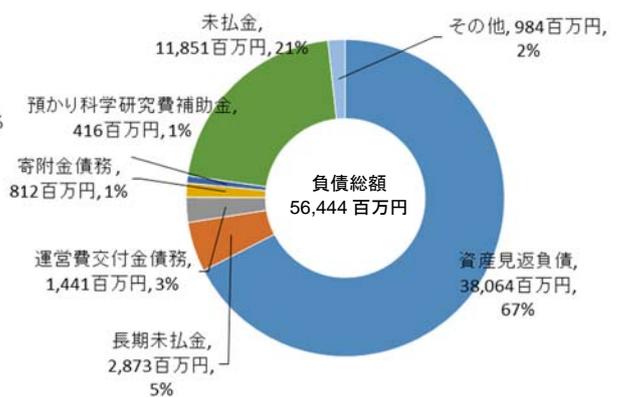
（「純資産」は国立大学法人会計基準等の改正により、平成 19 年度から従来の「資本」から名称変更したものです。）

◆ 資産・負債の構成内訳

【資産の部】



【負債の部】



< 損益計算書 >

本機構の運営状況を明らかにするため、一会計期間（平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日）におけるすべての費用と収益を記載しています。

◆ 経常費用

(単位: 百万円、%)									
区分	平成24年度	平成25年度	対前年度 増△減額	増減率	区分	平成24年度	平成25年度	対前年度 増△減額	増減率
	A	B	B-A	(B-A)/A		A	B	B-A	(B-A)/A
経常費用 a	35,055	37,461	2,405	6.9	経常収益 c	35,343	37,649	2,305	6.5
業務費	33,190	35,366	2,176	6.6	運営費交付金収益	23,874	25,146	1,272	5.3
教育経費	3	3	0	0.2	大学院教育収益	300	288	△ 11	△ 3.8
大学院教育経費	193	199	6	3.2	受託研究等収益	1,889	2,185	295	15.7
研究経費	3,204	3,589	384	12.0	寄附金収益	200	184	△ 16	△ 8.1
共同利用・共同研究経費	16,097	17,828	1,730	10.8	施設費収益	147	233	86	59.1
教育研究支援経費	2,604	2,739	134	5.2	補助金等収益	266	449	183	69.1
受託研究費等	1,888	2,185	296	15.7	資産見返負債戻入	7,842	8,370	527	6.7
人件費	9,196	8,820	△ 376	△ 4.1	財務収益	1	3	2	200.0
一般管理費	1,789	2,020	230	12.9	雑益	822	786	△ 35	△ 4.4
財務費用・雑損	75	74	△ 1	△ 1.8	経常利益 d=c-a	287	187	△ 100	-
臨時損失 b	61	107	45	73.4	臨時利益 e	70	107	37	53.4
					当期純利益 f=e-b+d	296	188	△ 108	-
					目的積立金取崩額 g	-	-	-	-
					当期総利益 f+g	296	194	△ 102	-

(※端数整理のため合計は一致しません)

経常費用の総額は約 374 億円で、昨年度に比べ約 24 億円増加（6.9%増）しました。これは、アルマ計画における国際スタッフ関連貢献経費の計上などにより共同利用・共同研究経費（約 17 億円の増）や研究大学強化促進事業の実施などにより研究経費（約 3 億円の増）がそれぞれ増加したことなどが理由に挙げられます。

◆ 臨時損失

臨時損失の総額は約 1 億円で、主に固定資産の除却（残存価額相当分）を計上しています。

◆ 経常収益

経常収益の総額は約 376 億円で、前年度に比べ約 23 億円増加（6.5%増）しました。

これは、運営費交付金の増などにより運営費交付金収益（約 12 億円の増）、アルマ観測所の施設利用権の減価償却費の見合いとして計上される資産見返運営費交付金戻入（約 8 億円の増）などがそれぞれ増加した一方で、国から承継した資産が償却期間を経過したため、これらの資産の見合いとして計上される資産見返物品受贈額戻入（約 4 億円の減）などがそれぞれ減少したためです。

◆ 臨時利益

臨時利益の総額は約 1 億円で、主に固定資産の除却に伴う資産見返戻入を計上しています。

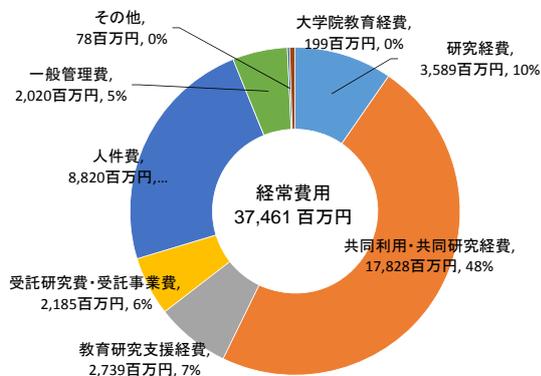
◆ 当期総利益

収益から費用を差し引いた約 2 億円が当期総利益となります。

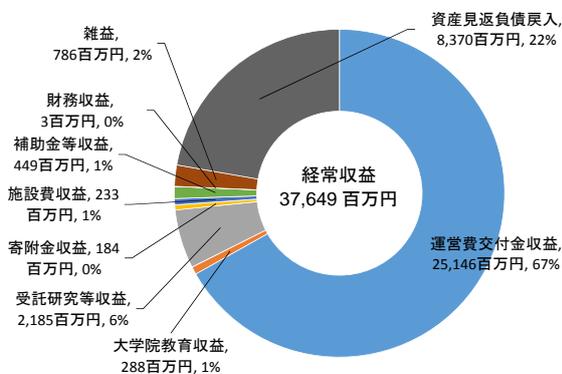
利益を計上するに至った主な理由は、国立大学法人会計基準に則り処理した結果発生する資産見返負債の立たない資産の取得及び費用化によるものの差額（約 1.6 億円の利益）及び決算時の為替差損益（約 0.2 億円の利益）などが挙げられます。

◆ 経常費用・経常収益の構成内訳

【経常費用】



【経常収益】



(お問合せ先)
自然科学研究機構 事務局財務課財務係
電話 03-5425-2040 FAX 03-5425-2049